

## 平成25年第3回知内町議会臨時会

- ◎ 招集年月日 平成25年7月9日(火)
- ◎ 招集の場所 知内町役場 議場
- ◎ 開会日時 平成25年7月9日(火) 午後1時04分
- ◎ 閉会日時 平成25年7月9日(火) 午後1時39分

### ◎ 出席議員

1番	西山和夫	7番	敦澤良子
3番	山田顯	8番	吉田峰一
4番	松井盛泰	9番	森永勉
5番	谷口康之	10番	伊藤政博
6番	泉政栄		

- ◎ 会議録署名議員 4番 松井盛泰 5番 谷口康之

- ◎ 欠席議員 2番 木村一

### ◎ 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した説明員

町長	大野幸孝
副町長	網野真
総務企画課長	手塚恵一
総務企画課政策室長	小田島伸二
生活福祉課長	大野樹
産業振興課長	藤谷亘
建設水道課長	佐々木孝幸
出納室長	大館光晴
教育長	田中健一
高校事務長	松崎輝幸
スポーツセンター長	上村政美
代表監査委員	村上壽

### ◎ 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	村上義久
議事担当係長	野戸英二

## 平成25年第3回知内町議会臨時会議事日程

(第1号) 平成25年7月9日(火)午後1時04分開議

日程	議件番号	議件名
第1		会議録署名議員の指名 4番、松井盛泰君 5番、谷口康之君
第2		会期の決定について
第3	議案第1号	平成25年度知内町一般会計補正予算(第3号)について

### ● 開会宣言・開議・議事日程

#### ◎ 議長(伊藤政博)

皆さん、こんにちは。

第3回臨時会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日、欠席通告のあった議員は、2番、木村一君であります。

只今の出席議員数は、9人です。

定足数に達していますので、平成25年第3回知内町議会臨時会を開会します。

これから、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

### ● 会議録署名議員の指名

#### ◎ 議長(伊藤政博)

日程第1、『会議録署名議員の指名』を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、4番、松井盛泰君及び5番、谷口康之君を指名します。

### ● 会期の決定について

#### ◎ 議長(伊藤政博)

次に日程第2、『会期の決定について』を議題にします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日1日限りとしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

したがって、会期は本日1日に決定致しました。

#### ◎ 議長(伊藤政博)

只今、町長から今臨時会に上程しております議案について、説明したい旨の申し出

がありました。

これを許します。

町長。

◎ 町 長（大野幸孝）

それでは、本臨時会に上程しております、議案について、説明をさせていただきます。お手元に配付のとおり、平成25年度一般会計補正予算（第3号）についての1件であります。

6月定例会の山田議員の一般質問において、小谷石振興についての取り組み状況についてご説明をさせていただいたところではありますが、事業申請しておりました、過疎地域等自立活性化推進交付金の交付内示をいただいたことから、小谷石自立再生対策事業として、555万2千円の追加補正をいただくものであります。議案の内容につきましては、後ほど総務企画課長から説明させますので、ご審議の上、議決賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

---

● 議案第1号 平成25年度知内町一般会計補正予算（第3号）について

◎ 議 長（伊藤政博）

次に日程第3、議案第1号、『平成25年度知内町一般会計補正予算（第3号）について』を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

総務企画課長。

◎ 総務企画課長（手塚恵一）

議案第1号、平成25年度知内町一般会計補正予算（第3号）について。

平成25年度知内町一般会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の補正であります。既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ555万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ39億5,369万9千円とする。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分毎の金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表歳入歳出予算補正」による。

恒例によりまして、歳出より説明致しますので、5ページをお開きいただきたいと思ひます。

2款総務費、1項総務管理費、12目自治振興費に555万2千円を追加し、2,655万5千円とするものであります。内容につきましては、国の交付金事業であります、小谷石自立再生対策事業が内示を受けたことから、その事業費と致しまして、8節報償費に観光アドバイザー謝金として9万円、9節旅費に観光アドバイザー旅費として10万1千円、11節需用費に事務消耗品として5万円、13節委託料で知内観光協会に委託をします、ツアー開催委託として21万4千円、小谷石PRサイト制作運営委託と致しまして、ウェブカメラの設置を含みまして435万5千円、それから、19節負担金補助及び交付金では、小谷石町内会が実施します、観光防災先進地の視察研修助成として74万2千円をそれぞれ追加するものであります。

続きまして、歳入3ページをお開きいただきたいと思ひます。

9款1項1目地方交付税に155万2千円を追加し、19億8,606万2千円と

するものであります。内容につきましては、今回補正額の財源調整として地方交付税に155万2千円を追加するものであります。

次のページです。13款国庫支出金、2項国庫補助金、4目総務費国庫補助金に400万円を追加し、400万円とするものであります。内容につきましては、過疎地域等自立活性化推進交付金が内示を受けたことから、小谷石自立再生対策事業分として400万円を追加するものであります。以上で説明を終わらせていただきます。

◎ 議 長（伊藤政博）

説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

歳入歳出一括質疑を行います。質疑ありませんか。

4番。

◎ 4 番（松井盛泰）

議長にちょっとお取り計らい願いたいと思いますが、この小谷石の再生事業の詳細の資料、まず、提出いただきたい。お諮り願います。

◎ 議 長（伊藤政博）

お諮りします。只今、4番議員、この度の事業の詳細な資料の請求がありましたが、そのように取り扱うことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしとします。資料請求議決しましたので、資料提供お願い致します。

暫時休憩します。

（ 休憩 午後 1時09分 ）

（ 再開 午後 1時12分 ）

◎ 議 長（伊藤政博）

休憩を取り消し、会議を再開します。

6番、泉委員。

◎ 6 番（泉 政栄）

ちょっと想像はできるのですが、ウェブサイトの制作委託になっていますので、これはどこか専門に扱っているところに小谷石の良いところをPR用に制作してもらおうということだと、今、資料が来れば分かるのかなと思うのですが、これは地元の人の方が良いところ分かるんじゃないか、外から見た方が分かるのかもしれないけど、その辺の打ち合わせというか、この辺は是非、入れてほしいとか、そういう話合いは持たれているんでしょうか。まだ、分からないですか。

◎ 議 長（伊藤政博）

総務企画課政策室長。

◎ 総務企画課政策室長（小田島伸二）

ただ今の小谷石の総合PRサイトの立ち上げについてですけれども、実はこの事業ですね、平成24年度の5千万円のいろいろなトイレの改修ですとかと一緒に申請していた事業ですね、当時からいろいろなことを検討してきていまして、見積りをいただいているのは、町内の業者からです。小谷石に観光に限らず、例えば、矢越山荘のいろいろな活動ですとか、あと、民宿のことですとか、小谷石でもいろいろな生活上の魅力ですとか、逆に生活上で厳しいこともあるかもしれないんですけれども、将来的にあの地域ですね、観光振興も含めて、移住の促進もしていくために小谷石の暮らしがどういうものなのかということもご理解いただくためにですね、観光のみならず、例えば、コンブの作業ですとか、いろいろなあらゆる情報を登載して、それを

ご覧いただくという計画をしております。

◎ 議 長（伊藤政博）

6番、泉君。

◎ 6 番（泉 政栄）

さっきもちょっと聞いたのですが、ウェブサイト制作する段階で、委託とありますから専門の方にそれは制作してもらおうということになっていると思うんだけど、そういうときには是非、知内町としてはこういうところを織り込んでほしいとか、そういう希望もあると思うんです。丸っきり委託しちゃうと、彼らが見た良いところだけを取り上げるような形も出てくるような恐れもあるので、そういう打ち合わせというのは、どのようになっているのかということをやちょっと教えてもらいたい。

◎ 議 長（伊藤政博）

総務企画課政策室長。

◎ 総務企画課政策室長（小田島伸二）

この委託につきましては、先ほどもお話をしましたけれども、町内業者ということで、当然、見積りをいただくんですけども、どういことを町が想定しているかということなんです、先ほどお話ししたとおりですね、観光ですとか、生活のあらゆる細かいこと、小谷石の外から見るといろいろな状況が分かる、まず、サイトにしていたきたいということです。更に、町が直接このサイトを運営するというのではなくてですね、外部の民間の方々に運営していただくとしているんですけども、このサイトの運営の中で、例えば、民宿の予約だとかもそのサイトでできるような仕様にしてくださいということにしております。

◎ 議 長（伊藤政博）

資料が来ましたので、4番議員ありましたら。

4番、松井君。

◎ 4 番（松井盛泰）

私は今回のこの事業については、決して反対するわけではございません。逆にむしろ、どんどん進めていただきたいと思うところでございますけれども、問題は、プロセスの問題なんです。今回、町長の執行方針、更には、年間行事予定、全部見ましたけれども、この事業というのは一切載っていない。初めて今、目にするんですよ、我々。今、補助金が内示を受けた。議会に諮って議決を得るのに反対できますか。なぜ、我々に前段に説明がなかったのか、まず、それをお尋ねします。

◎ 議 長（伊藤政博）

総務企画課政策室長。

◎ 総務企画課政策室長（小田島伸二）

事務的なことだけ先に。実はこの小谷石総合振興対策事業といいますのは、きつとご承知のとおり、町長が平成24年度から限界集落唯一の地域となっている小谷石、何とかしなければいけないということですね、地区のアンケート調査なり、地区の役員の方々との協議なりということを進めてきておまして、昨年11月27日に総務文教常任委員会ということでしたので、議員の皆様との協議ということではなかったんですけども、総務文教常任委員会の所管事務調査の中でですね、津波を想定した防災対策ですとか、知内駅の今後の方向性について、更に3番目と致しまして、小谷石地域の総合振興対策の進捗状況ということで、いろいろな今、町が計画している事業の概要を総務の方だったんですけども、一応、お知らせしているということ

ご理解いただきたいと思います。

◎ 議 長（伊藤政博）

4番、松井君。

◎ 4 番（松井盛泰）

私も総務文教常任委員会です。この説明はないです。こういうような包括的な話はあるんですよ。私はこの事業のことを言っているんですよ。初めてこの事業を聞きますよと。けども、過疎地域自立活性化推進交付金を申請する段階で、既にこういう計画はなされていたということでしょう。補助金決定しなくても、町で今、小谷石の開発でこういうことを着手しているよということを前もってなぜ、詳しく説明できなかったんだろうか。私が聞いているのはそこなんですよ。

◎ 議 長（伊藤政博）

大野町長。

◎ 町 長（大野幸孝）

今、小谷石振興については、今、小田島室長の方から申し上げたとおりであります。私は町長の立場に就かせていただいてから、小谷石振興ということで、いろいろと今、内部協議をさせていただきました。それで、先般もちよっと前段に申し上げましたけれども、山田議員の一般質問の中で、小谷石振興ということがありましたものですから、今、こういう取り組み方、10分の10の補助金を今、手を挙げさせてもらっていますよと。ただし、それは交付決定いただけるのかどうかということは、まだ未確定だったものですから、そこまで止めさせていただきました。そのほかに上限5千万円の10分の10の要するに事業についても、矢越山荘の改修やら、それから冷泉の活用やら、それから展望施設の設置等、いろいろと小谷石の地域の皆さん方と相談をさせていただきながら、方向性を定めさせていただいて、手をあげさせていただきました。ただ、残念ながら、5千万円の10分の10については、全国の地域でありますから、これは内定をいただけなかったということでもあります。そのほかに今、北海道との協議の中で、北海道も過疎地域を何とか活性化したいということで、今回、道の予算で3地域の指定を今、していますけれども、全道で6地域の応募の中で3地域であります。その中にも今回の部分を手を挙げさせていただきました。それで、総合振興局の担当のやり取りの中では、知内町、今、そんな取り組みをしているし、限界集落ということの位置づけの中で、何とか道としても支援をしたいということがあったものですから、私はある程度、そこから内示をいただけるなと思ったんですけども、残念ながら3地区しか予算の枠がなかったものですから、内定をいただけなかった。それと連動して、今、北海道との協議も含めた中なんですけれども、道の事業としては、採択いただけませんでしたけれども、新たな事業として、この過疎自立の部分が今、国の制度としてあるので、何とかそっちの方を手を挙げていただければ、道としても積極的に支援をするということで、今回、内定をいただきました。それで、今、4番議員のその事業のメニューを決めるにあたって、どうして議会にそういう説明がなかったかということでもありますけれども、基本的には、私は地域の皆様方の意見をきちんと集約させていただいていると思っています。それと、小谷石振興というのは、誰も反対する人はいないと思っていますし、私はできる中で、補助メニューの中で採択できるものについては、これは内部的に精査をさせていただいて、今回、挙げさせていただいてるということで、その点についてもご理解をしていただければと思っています。ただ、今、これだけでは終わりません。まだまだ良い制度が活用で

きればと思っていますので、先ほど言いました冷泉の今、湯量が大変、48年の災害から治山工事があるから、要するに湯量もう減少しているという状況もありますし、その辺の今、成分調査をしているところでもありますので、私は何とか今、潮流発電に然り、それから地域の今、いろいろと素材を利用して、それで5月1日にアドベンチャー、村田優君が今、やってもらっていますけれども、すごく今、ネット上でも好評だという意見になっていますので、何とかその辺、含めながら、これは議員の皆様方を無視したという話ではなくて、町全体の1つの課題として、これから方向性を要するに決めていきたいというふうに思っていますので、よろしくお願い致します。以上です。

◎ 議 長（伊藤政博）

4番、松井君。

◎ 4 番（松井盛泰）

私は決して反対していないということだけは理解してください。ただ、今の中で、2・3点どうも気になる部分というのは、地域の人たちの意見は意見としてきちんとおさえているんだよと、なぜ、議会の意見はおさえないんですか。地域の意見も議会の意見も同じじゃないですか。まず、この辺。それと、どうなんですか。我々議員は、まちづくりに参加できないんだろうか、これは是非とも聞きたい。それと、小谷石開発については誰も反対するものもないという、このおごりがまず、1つ邪魔になっている部分があると思うんです。この辺、あと1・2回質問していいですか。前もって聞いておきますけれども。あと、1回だけすみません。

◎ 議 長（伊藤政博）

町長。

◎ 町 長（大野幸孝）

今、4番議員が、議会がまちづくりに参加できないのかという発言でありますけれども、そんな私は思いというのは一切ありません。私は最初から町民の皆様方の意見を聞きながらということをおっしゃっていただいています。ただ、今、言われますように、小谷石振興の部分で議会は議会なりの意見があるということは当然あると思いますので、これでうちの方の事務手続の段階でその辺の落ち度がありましたら、これは見直さなければいけないと思っていますけれども、私はきちんと手順を組ませていただいて、今、実現、私は新規事業を組む段階で、できるだけ良い制度、有効な制度を活用できるようにということを担当に話をしていますので、その段階で少し意見集約の段階で事務方で走ってしまうということもきっとあるのかもしれませんが、その考え方としては、決してそんなことはありません。町民の皆様方の意見を集約しながら方向性を見だしていきたいというふうに考えておりますので、ご理解をいただければと思います。以上です。

◎ 議 長（伊藤政博）

4番、松井君。

◎ 4 番（松井盛泰）

最終的には、私は何回も言いますが、いろいろやることについては、その意欲は買います。ただ、何回も言いますがプロセスの問題なんです。これは町長ばかりではなくて、理事者全体にひとつ、お願いをしたいんですけども、今、やっていることについては、町全体でまちづくりをするというのは、その中に議員の我々も入っていることは忘れないでください。これからやることについては、まず、きちんと説明

をされて、それからですよ。何かやっているのに、一人相撲とっているようにしかとれない。それだけ私の希望として言っておきます。以上です。

◎ 議長（伊藤政博）

そのほかに質疑ありませんか。

7番、敦澤君。

◎ 7番（敦澤良子）

今の観光と防災をつとめた先進地の視察なんですけど、ここに役員17名の名前が出ています。そういうことで、何か我々議会が報告会とか町内会との意見交換をするときに何となく町に対して地元の人方というのは、消極的で、自分たちの希望というのはあまり言えてないのかなという感じはいつも感じてきています。そういうことなので、本当に今、4番議員も言っていましたけれども、我々もこぞってみんながまちづくりに参加しなければならないので、そういうふうな部分についてもですね、これから意見の集約もできていると町長が話していますけれども、その辺についてもですね、もうちょっとやっぱり地元の意見、そして、また、広く町民の意見も是非、聞いていただきたいというふうに意見ということで終わります。

◎ 議長（伊藤政博）

そのほか、質疑ありませんか。

1番、西山君。

◎ 1番（西山和夫）

10分の10だから良いとか悪いとかではなくて、サイトの部分は、先ほど6番議員からいろいろ質問があって、説明されていますので省きますけれども、ただ、観光防災先進活動ですか、これ研修して、先ほどの話ですと、津波等も入っているという話なんですけれども、今、町内で津波の対策等、具体的に進んでいるところは極論としてそんなにないだろうと思っています。進んでいるところは。そうした中で、小谷石というのは、優位性から見てもまだまだ危険度の高いところはまだあるだろうし、そういう意味で、ちょっと津波引っかけたんですけれども、ただ、観光も付いていますので、観光の部分でウエイトを占めるというのであれば、全然、言い分は違ってくるんですけれども、ただ、アドバイザーの中で、要するに先生、講師を招いていると受入体制だとか、いろいろ確認しながら次につなげるということなんだろうけれども、ただ、行くだけではなくて、仙台ということなんですけれども、先進地に行くだけではなくて、その先進地から地元に来てもらって、地元の風景、環境、全てを網羅して、そしたら、先進地から見て、この地域は何が使えるのか、使えないのか、もっと具体的なアドバイスができるんだろうと思うんです。行って聞くというのは、もうあっちのことだけですからね、ただ、先進地の人が我々が地元に来てアドバイスをしていただければ、更に効果的な要素が出てくるんだろうなという気がするんですよ。そういう面で、そのアドバイザー、やっぱり行くのがだめだというのではなくて、もう少し、行くのに90万円くらいの予算を付けるのであれば、逆にもっともっと何人も先進地の方に来ていただいて、トータル的な意見を拝聴するというのも1つの手ではないかなという思いがあるんですけれども、その辺の考え方、ちょっと。

◎ 議長（伊藤政博）

総務企画課政策室長。

◎ 総務企画課政策室長（小田島伸二）

ただ今の小谷石の観光防災先進地の視察なんですけれども、まず、視察先は岩手県



久慈市の山根六郷という小さな集落です。同じく限界集落にありながらですね、地元特有の食べ物だとか、いろいろなものを持ち寄ったイベントがものすごく大きなものに育っていて、地域が活性化しているということでですね、逆に小谷石の町内会から自分たちでこのような場所を視察研修したいよということで、町に対する補助金と言いますか、コミュニティの町の単費の70パーセントの補助金をお願いしますということで、25年度の当初予算で上がってきたんですけども、せっかくこのようなソフト事業、100パーセントなもので、支援も可能かもしれないということで、この事業に振り向けたという経過がございます。今のアドバイザーの件なんですけれども、これまでですね、北大の先生方が何度か一昨年から小谷石の振興のためにニューツーリズムの研究ということでですね、何度も町にお運びをいただいて、町の状況を熟知している先生なんですけれども、その方にもう一度、おいでいただきまして、町内会の方々17名がただ行ってくるということではなくて、やっぱり観光振興のために今後何が有効であり、必要なのかということをも、事前に学習していただくために、講師をこちらにおいでいただいて、町内会の方々といろいろな懇談をまず、1回していただきたいと思っています。もう1回目は、研修視察終わった後に、今後、どうしていくべきかということをもう1回検討していただいて、報告書をまとめていただこうとしていますので、その研修後にもう一度、おいでいただいて、その辺のアドバイスをいただきたい。更にあと1回は、ネイチャーガイドの方、道内の方なんですけれども、小谷石の方、地元の方もあまり気づいていないかもしれない、例えば、丸山にあるいろいろな植生のものでとか、見る人が見るとお宝というものがあるということご指摘いただいていますので、それらもご覧いただきながら、町内会の方々に実は小谷石、まだまだこういうお宝があるよということを学習していただくような機会をつけていただきたいということで、計3回をみております。以上です。

◎ 議長（伊藤政博）

1番、西山君。

◎ 1番（西山和夫）

確かに過去にというか、この小谷石の魅力ということで、先生方の目からウロコみたいな、要するに外から見ると、内から見ると、やっぱり違うということで、そういういろいろなアドバイスの中で、本当にハッとするようなアドバイスがあったということは伺っております。だからこそ、だからこそ、先進地の方が地元に来るに要するに、何が使えるか、ここにはすばらしい、こういうものがあるよと、我々が気づかない、こういうものがあるよとか、いろいろなそういうアドバイスもあるだろうと思いますので、できれば、そっちの方が良かったのかなという、ちょっと気が今でもしておりますので、ただ、行くのがだめだということではなくて、そういう要素もこれから取り入れた中で検討していただければありがたいなと思います。

◎ 議長（伊藤政博）

ほかにありませんか。

5番、谷口君。

◎ 5番（谷口康之）

1点ほどちょっとお伺いします。前、敦澤議員もおっしゃっていましたように、我々も所管調査ですね、小谷石の所管調査もそうですけれども、議会報告会のときにですね、小谷石に入ったときに、小谷石町内会の方からいろいろな箇所が土砂崩れの心配があると指摘されたものですから、それをなぜ、町長の方に言わなかったのか。な

かなか話しづらくて、ちょっと議会の人には話しやすいからしゃべるんだという言い方されたものですから、我々もそれがちょっとショックな部分あったものですから、今、町長このような事業をやるのは分かるんですけども、やはりうちの町の小谷石の今の現状というものをやっぱり地域の人たちもそうでしょうけれども、もし、観光の人に来てもらうためにもですね、やはりその地域が安心して安全な場所だということをきちんと把握しておかなければだめだと思うんですよ。その辺で、もう少し、町内会の人たちにも話をしてですね、墓地のところだとか、土砂崩れの心配があるところを私はまず、早急にですね、調査して本当に安全なのか、それとも危険な部分が存在するのか、その辺、ちょっと調査をお願いしたいと思うんですけども、その辺、どうでしょうか、考え方。

◎ 議 長（伊藤政博）

町長。

◎ 町 長（大野幸孝）

町との懇談の席に話しづらいということであったということでありますけれども、決してそんなことないと思っています。今、議員が言われましたように、墓地の山のずれ、それから、別なところもですね、それは町内会の要望として既に上がってきています。それで、現地も総合振興局の方に担当と話をさせてもらって、今、補助制度、何とかうまく使えないかということで、取り組みを今している最中でありますので、その点については、ご理解をいただければ。それで、今、おっしゃるとおり、町外から小谷石地域に要するに入っていただくというのは、当然、それは安心・安全でなければということが、もう大前提だと思っていますので、その辺は十分、これからどんな形でそれが安心してきていただける体制と環境としてつくれるのかというのは、これは常に頭に置いて仕事をやらせていただいていますので、その点については、ご理解をいただければと思っています。それと、7番議員が町長に対して遠慮しているんじゃないかという話がちょっとあったんですけども、うちらと何回か懇談をさせてもらいました。それと、アンケートもやらせてもらいました。すごく私は今までと違った形で、本当に意見を言っていたらいいなと。本当に真剣に地域を何とかしたいという雰囲気ですね、うちの方で感じさせていただいていますので、何とかそういう方向に持っていきたいということでもあります。それと、今、視察の分もですね、これはうちで仕掛けた話ではなくて、町内会で何とかそういう今、矢越山荘、たまたま町外から来て小谷石に住まれている方でありますけれども、町長、何とか今、小谷石、私は小谷石の住民じゃないけれども、外から見て、小谷石観光というのは、すごいいろいろとやれる場所だと認識しているということがありましてですね、今回、小谷石の役員の皆様方、何とかそういう先進地を視察したいということで、場所もですね、先進地も全て小谷石の役員会でこれは検討していただいて、先ほど言いましたように、町のコミュニティ事業で、これは7割の事業でありますけれども、3割は町内会で負担してもいいからという、そういう強い思いで申請が上がってきたと。それで、一応、検討はさせていただきましたけれども、もし、あれだったら、うちの方としても今、10分の10の補助制度を手を挙げさせてもらっていますから、ということは今、話をしていますので、それは今、ご指摘をいただきました。それは十分、私は考えさせていただいていると思っていますけれども、まだまだ足りない部分がきっとあるんだろうと思いますので、今後、きちんと地域の皆様方と本当に腹を割って話をできるそんな体制をつくっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。以

上です。

◎ 議 長（伊藤政博）

3番、山田君。

◎ 3 番（山田 顯）

限界集落小谷石の振興のためにこういった予算を精査していただいたということは、私の方からも本当にお礼を申し上げます。いよいよ小谷石の振興が動き出したんだと、そんな感じでいっぱいなんです。ということは、私もかつては札幌で30数年近く、居をして、そして、よそから小谷石の景観、小谷石の部落のすばらしさというものをですね、もうつぶさに感じておりましてですね、たまたま、私の事務所に行くと、これは個人的な話ですけれども、小谷石の風景や矢越の岬、イカリカイの島々を撮った写真も貼ってあるわけです。そうすると、財界さっぽろ、クオリティを創立したときの近藤社長がですね、私のところに渡島支庁の職員たちを連れて、しょっちゅう来るんです。その際にですね、これはどこですか、実は知内町ですと、こう話をしたらですね、こんなすばらしいところがあるのかと、そのように言って、これは放っておけないよというふうなことをもう以前に再三言われておったわけです。ですから、小谷石の振興というのはですね、本当に私は知内町の財産だとそう思っていますから、それがいよいよ、3代目の町長になって、大野町長になって、動き出したとそんな感じをして、深く敬意を申し上げます。ありがとうございます。

◎ 議 長（伊藤政博）

3番議員に申し上げますけれども、今、質疑の時間ですので、そのことを意識して発言していただきたいと思います。

ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

質疑がないようですから、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

討論がないようですから、討論を終わります。

これから議案第1号を採決します。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

---

● 閉会宣言

◎ 議 長（伊藤政博）

これで本日の日程は全部、終了しました。

会議を閉じます。

平成25年第3回知内町議会臨時会を閉会します。

どうも大変、ご苦労様でした。

（ 閉会 午後1時39分 ）